

令和7年度とうきょうすくわくプログラム活動報告書

所在	千代田区神田和泉町1
園名	千代田区立いずみこども園

1. 活動のテーマ<テーマ>

形（粘土を使った造形活動）

<テーマの設定理由>

粘土を使った遊びは日々の保育の中でも取り入れているが、様々な粘土素材に触れることで素材への興味を高めたり、テーマから連想するものを制作することでイメージを広げたり、イメージを実現するために考えたり工夫したりする経験を深めるため。

2. 活動スケジュール

≪4月～≫

*油粘土遊び

油粘土・型・棒などを使いながら自分がイメージしたものを作る。

≪6月上～中旬≫

*絵の具を使って手型スタンプ・塗りたくりをする。

*紙皿に絵の具（白→赤・青・黄）をのせ、それらを指で混ぜて感触や色の変化していく様子を楽しむ。

≪6月下旬≫

*500mlのペットボトルに水に溶いた絵の具（赤・青・黄・白）を用意し、スプーンで少しずつカップ、卵パック、透明プラスチックコップなどに入れていき、色の変化を楽しむ。

≪7月3日≫

*紙粘土で手型・足型取り（親子造形活動①）

紙粘土に手型・足型を取って乾燥させる。

≪7月9日≫（親子造形活動②）

*紙粘土の特性や形から広げていくための事例を画像で見る。

*親子で紙粘土の形からイメージを広げながら色を塗る。

*完成した作品の「おすすめポイント」を発表する。

*全学年が鑑賞できるように玄関ホールに展示する。

3.

油粘土遊びのために準備した素材や道具、環境の設定

*油粘土、型、棒、粘土板など

絵の具の活動のために準備した素材や道具、環境の設定

<手形スタンプ・塗りたくり>

*全紙（白）・青・黄緑・白の絵の具・筆

<紙皿を使つての遊び>

*紙皿（直径 15 センチ、20 センチ）、赤・青・黄の絵の具、ヤマト糊、紙コップ
（紙コップにヤマト糊と対絵の具を 2：1 の割合で混ぜて準備しておく）

<色水遊び>

*ペットボトルに赤・青・黄・白、スプーン、プラスチック容器（ゼリーやプリン容器、卵パックなど）

親子造形活動（①②）のために準備した素材や道具、環境の設定

* 33組の親子がゆったりと活動できるように2グループに分け、二部屋で行う。

* 様々な太さの筆・バケツ・パレット・雑巾・紙粘土・ラップ・型紙・クリップ・紐など

* 絵の具（赤・青・黄・ピンク・白・水・黄緑）

*油性マジック・ポスターカラー

* 講師からのスライド用モニター（作品事例・紙粘土の話）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

○講師と一緒に自分の手型または足型をとる。

・手か足かどちらかを決め、紙粘土の上に手型や足型を取る。

・手で握れる量を持ち、「ぎゅっ」とにぎって型を作る。

・出来上がった紙粘土にクリップを付ける。

・型紙の上で数日乾燥させる。

○講師の説明を聞き、親子で造形活動を楽しむ。

・活動の流れを聞く。

・スライドを見ながら紙粘土の特性のことや、作品事例などの話を聞く。

・自分の紙粘土の形からどんな形に見えるかを親子でイメージする。

・絵の具で色を塗る。

・出来上がった作品のクリップのところに紐やリボンを通し、名札に（名前・おすすめポイント）を書く。

・モニターに映し出ししながら、自分の作品を紹介する。

・他学年も鑑賞できるように、共有の場に展示する。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

《親子造形活動①～足型・手型取り～》

・手型や足型を取りながら、「熊さんの手みたい」「お団子餅みたい」「お餅みたいに動いてる」「踏んだら冷たかった」「貝殻みたいな形をしてる」「ちょっとだけ硬かった」と紙粘土の変化や感触について言葉にしていた。

《親子造形活動②～色塗り・作品紹介～》

・乾いた紙粘土を手に取り、「硬くなっている」とつぶやく。
・「猫かくの」「ここは川でそこには魚がいそう」「火山があつて、爆発するんだよ」など手型、足型イメージを広げ、色塗りをする。
・色を塗り進めていくと、初めにイメージしたものとは違うものに見え、さらにイメージが広がっていった。
・「全部の色を混ぜたらこんな色になったよ」「赤に白を混ぜたらピンクになった」「ここはちょっと濃くて、ここは薄くて色が違うね」など色を重ねたり混ぜたりしていくことで変わっていく面白さを味わっていた。
・保護者も夢中になる様子が見られ、一緒に塗ったり、子どものイメージを読み取りながら、共感したり受け止めたりして楽しんでいた。

<事前の油粘土遊び・絵の具の活動>



紙皿を使っての絵の具遊び



赤はイチゴ味、黄色はバナナ、混ぜると・・・色が変わってきた！！

<親子造形活動の様子>



手足型取り



お餅みたい



柔らかくて気持ちいい



型取りした粘土は数日乾かします。



5. 振り返り<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・当日までに油粘土や絵の具などに親しんできたことで、より活動に楽しめた。
- ・偶発的かつ自由な発想について戸惑う姿も予想されたが、活動を進めていく中で、見えてくる、出来上がってくることもあり、無理なく楽しむことができた。
- ・保護者もゆったりとした気持ちで親子の時間を過ごせていた。